

3 質問紙調査の結果

(1) 児童質問紙の結果（小学校）

○良かった点

- ・毎日、朝食を食べ、同じぐらいの時刻に就寝・起床している。
- ・将来の夢や目標をもっている。
- ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている。
- ・友達関係に満足している。
- ・学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強に役に立つと思っている。

☆改善点

- ・家で、自分で計画を立てて勉強する時間が短い。
- ・地域の行事に参加したり、地域や社会をよくするために何かしてみたいと思ったりする人が少ない。
- ・授業で学んだことをほかの学習に生かしている人が少ない。
- ・国語の授業で立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめている人が少ない。

(2) 生徒質問紙の結果（中学校）

○良かった点

- ・毎日、朝食を食べている。
- ・自分にはよいところがあると思っている。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思っている。
- ・普段の生活の中で幸せな気持ちになることがある。
- ・学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強に役に立つと思っている。

☆改善点

- ・家で、自分で計画を立てて勉強する時間が短い。
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている人が少ない。
- ・将来の夢や目標をもっている人が少ない。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと感じている人が少ない。

4 学力・学習状況調査の結果を受けて

<国語>

小学校においては、自分が知りたい情報を求めて、聞いた内容を生かすためにどういった情報を相手から引き出すのかなどを明確にして聞き、話の内容を捉える力を育成する必要がある。そのため、相手の話の中に、目的に関わる言葉が出てきたときには、その言葉を取り上げて詳しく聞くなど、分からない点や確かめたい点などを質問するという視点を明確にすることができるよう指導していく。また、文章を読んだり、書いたりするときには、文章の種類とその特徴を理解しておく力が必要である。そのため、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の様々な言語活動において、話や文章の種類とその特徴を意識できるように指導していく。

中学校においては、生徒自身が古典の楽しみ方を見だし、古典の世界に親しむようにする必要がある。そのため、古典の現代語訳や解説文などの教材を工夫し、古典の原文と比較したり関係づけたりすることで文章の構成や展開、表現の効果などに着目して工夫されているところを考えることができるようにし、古典の原文やその作品の世界に興味・関心が向かうようにしていく。また、漢字において、字体や字形、音訓、意味、用法などを繰り返し丁寧に指導することで、文脈に即して漢字を読んだり書いたりすることができるようにしていく。

<算数・数学>

小学校においては、筆算を式と関連づけて考察できる力を育成する必要がある。そのため、除法の筆算の手順を具体物や図、式に表したりする活動などを取り入れていく。また、計算に関して成り立つ性質について、統合的・発展的に考察できるようにしていく。図形においては、図形の意味や性質を活用して、面積などを比べることができるようにする力を育成する必要がある。そのため、図形の観察や操作活動などを通して、図形の意味や性質を見いだしたり、面積の公式と合わせて考えたりすることで問題解決において適切に使うことができるようにしていく。

中学校においては、数の集合を捉え直し、自然数や整数の意味を理解できるようにする必要がある。そのため、数の範囲を正の数と負の数にまで拡張し、数の集合を捉え直す場面を設定し、自然数や整数の意味を理解できるようにしていく。また、目的に応じてデータを収集して分析し、その傾向を読み取って批判的に考察し判断することを通して、統計的に問題解決することができる力を育成する必要がある。そのため、日常生活や社会の事象を題材とした問題などを取り上げ、「必要なデータを収集して分析・データの分布の傾向を捉える・結果を批判的に考察し判断する」という一連の活動を充実させていく。

<英語（中学校）>

場面や状況から文の形式や時制を適切に判断し、正確に書くことができる力を育成する必要がある。そのため、文脈に応じて理解した文法事項を正しく活用したり、活用することを通して文法事項を理解したりする活動や書いた英文が相手に正しく伝わるかどうかについて、生徒自身が読み直して誤りを修正したり、ペアでチェックし合ったりして正確な英文に書き直す活動などを取り入れていく。

<生活>

各校において、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を進め、質の高い教育活動を実施していく。また、個に応じた学習指導の充実を図ることで、家庭学習においても主体的な学びができるようにしていく。高浜市教育基本構想の取組の一つである高浜カリキュラムや異校種連携事業を通して、地域や社会の人・もの・ことに興味関心を持ち、積極的につながっていきこうする態度を養っていく。また、キャリア教育の充実に向けた取組を実施していくことで、なりたい自分に向かって学ぶ力を育てていく。